



27

シティ質問書の構成モジュール

ガバナンス

評価

目標

計画策定

対策/行動

▼ 2024年の質問書から変更点はありません。

▼ スコアリング基準に特に大きな変更点はありませんが、インベントリの対象年、データ年、目標の基準年/達成目標年、対策の開始年に変更がありますので、併せてご確認ください。

28

Governance (ガバナンス) モジュール

1. Governance	1. ガバナンス
(1.1) Language	(1.1) 言語の選択
(1.1) Demographic and Geographic Data	(0.1) 人口/地理データ等
(1.2) Oversight	(0.2) 管理体制
(1.3) Opportunities and Equity	(0.3) 機会と公正
(1.4) Multilevel Governance	(0.4) 多層ガバナンス
(1.5) Collaboration	(0.5) 協業

29

Assessment (評価) モジュール

2. Climate Risk and Vulnerability	2. 気候リスクと脆弱性
(2.1, 2.1a) Risk and Vulnerability Assessment	(2.1, 2.1a) 気候リスクと脆弱性評価
(2.2) Climate Hazards	(2.2) 気候ハザード
(2.3) Adaptive Capacity	(2.3) 気候変動への適応能力

3. Emissions Inventory	3. 排出インベントリ
(3.1) Community-wide Emissions Inventory	(3.1) 区域全体の排出インベントリ
(3.2, 3.3) Other Emissions Inventory Data	(3.2, 3.3) 消費ベース、自治体運営（事務事業）排出インベントリ

30

Assessment (評価) モジュール

4. Sector Data	3. セクターデータ
(4.1 - 4.4) Energy	(4.1 - 4.4) エネルギー
(4.5 - 4.6) Transport	(4.5 - 4.6) 運輸
(4.7) Waste	(4.7) 廃棄物
(4.8 - 4.10) Public Health	(4.8 - 4.10) 保健、大気質、上下水道
(4.11 - 4.12) Food	(4.11 - 4.12) 食料
(4.13) Water	(4.13) 水

31

Targets (目標) モジュール

5. Adaptation	5. 適応目標
(5.1) Adaptation Goal(s)	(5.1) 適応目標

6. Mitigation	6. 緩和目標
(6.1, 6.1.1) Mitigation Target(s) Set	(6.1, 6.1.1) 緩和目標・排出目標
(6.2) Carbon Credit Detail	(6.2) 炭素クレジット

7. Sector	7. セクター目標
(7.1) Energy & Other Sector Targets	(7.1) エネルギーおよびセクター目標

32

Planning (計画策定) モジュール

8. Planning	8. 計画策定
(8.1) Climate Action Plan	(8.1) 気候変動対策計画の策定
(8.2) Other Climate-related Plans	(8.2) セクター行動計画
(8.3) Consumption Based Emissions Strategy	(8.3) 消費に基づく排出戦略の策定
(8.4) Sustainable Public Procurement	(8.4) 持続可能な公共調達

33

Planning (計画策定) モジュール

8. Planning	8. 計画策定
(8.1) Climate Action Plan	(8.1) 気候変動対策計画の策定
(8.2) Other Climate-related Plans	(8.2) セクター行動計画
(8.3) Consumption Based Emissions Strategy	(8.3) 消費に基づく排出戦略の策定
(8.4) Sustainable Public Procurement	(8.4) 持続可能な公共調達

34

Actions (対策/行動) モジュール

9. Actions	9. 対策/行動
(9.1) Adaptation Action(s)	(9.1) 適応策
(9.2) Mitigation Action(s)	(9.2) 緩和策
(9.3) Projects Seeking Finance	(9.3) 資金調達
(9.4) Climate Finance Factors	(9.4) 気候ファイナンス

35

妥当性と効率性を重視した質問書

- CDP-ICLEI Track は三つの質問書経路を設定しており、異なる自治体の状況に応じて適切な質問項目のセットを選択できるようにしています。
- 経路1→2→3と選択を変更すると、表示される質問数が増加します。
- 殆どの質問が選択式か数値入力式の回答形式です。
- 基本質問項目を継続的に維持し、報告に必要な労力が最小限となるように考慮しています。本年の回答にあたり、昨年と同じ経路を選択すると、「コピーフォワード」機能によって、昨年報告した既存データをそのまま活用/反映させることができます。

質問書経路 (Pathway)	2025年 質問数	2024年 質問数
経路 1 (基本質問項目)	28	28
経路 2 (追加質問項目)	+7	+7
経路 3 (フル/完全質問項目)	+10	+10
特定のイニシアティブ 対応の質問項目	+9	+9
質問総数	53	53

45

質問書経路(Pathways)

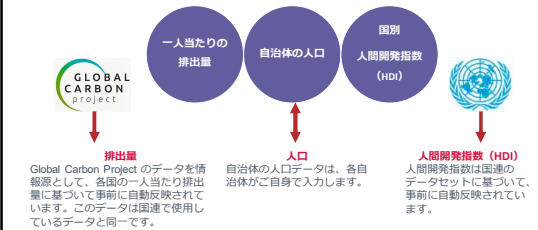
- CDP-ICLEI Track は三つの質問書経路を設定しており、異なる自治体の状況に応じて適切な質問項目のセットを選択できるようにしています。
- 経路1→2→3と選択を変更すると、表示される質問数が増加します。
- 日本自治体の場合は、先進国の自治体として経路3または経路2が自動設定されている場合が殆どですが、状況に応じて経路を変更して質問項目を主要な基本項目のみの表示に変更することもできます。
- ただし、C40加盟自治体は経路の選択をすることができず、C40が設定する質問項目を回答する必要があります。

1	経路 1 の質問数: 28
2	経路 2 の質問数: 35
3	経路 3 の質問数: 45

46

質問書経路

三つの評価基準によって推奨される経路が決まります



47

質問書経路の選択プロセス

- Step 1: 推奨経路:** 経路の一つが、三つの決定要素となるデータ（人口、排出量、人間開発指数）に基づいて推奨経路として表示されます。
- Step 2: 経路の選択:** 回答自治体は、推奨経路を選択するか、または別の経路を選択することもできます。回答提出前であれば、ポータルからいつでも別の経路に変更できます。
- 重要点:**
 - 経路を変更しても主要な基本質問項目は常に表示され、スコアリングへの影響は無し（変更しても有利・不利になることはない）
 - 昨年度から経路を変更すると、変更により除外される質問の回答はコピーフォワードされませんので、ご注意ください。



48

質問書の設定（経路の選択～設定の送信）



49

設定完了後の画面

「責任者の確認」と「質問書（経路）を設定」の二つが完了すると、「質問書の設定は完了しています」と表示されます。

質問書への回答を開始してください。



50

参考：質問書の再設定について

ホーム画面



- ホーム画面から「回答書の設定を編集する」をクリックすると、下のポップアップが表示されます。
- 質問書のセットアップを再設定した場合、変更内容に応じて質問内容が更新されます。
- ただし、再設定した場合、前年度の回答内容は再度コピーされませんので、ご注意ください。

51

CDPシティのスコアリング概要

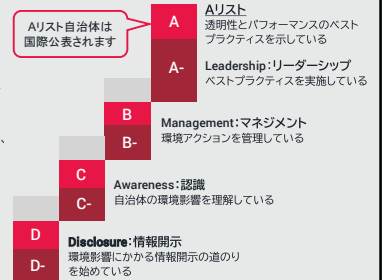


52

CDPSコアについて

CDPSコアは、組織の情報開および環境パフォーマンスの状況を確認するための情報となります。CDPSコアは、組織が報告年度における環境への影響を、評価し、管理するためのアクションの度合いを反映します。

※自治体のスコアはAリスト以外には非公開です。



53

排出量の測定：GHGプロトコル

GREENHOUSE GAS PROTOCOL

▼ 1998年に世界環境経済人協議会(WBCSD)と世界資源研究所(WRI)により共同設立

▼ 温室効果ガス算定および排出にあたっての基準を開発、利用の促進
→製品ライフサイクルを通した環境配慮型の管理

Global Protocol for Community-Scale Greenhouse Gas Inventories

Autonomous Government GHG Protocol for Cities & LGAs

GHG Protocol for Cities & LGAs

ガイドスとツールをWebサイトにて公開

55

GPC (GHG Protocol for Cities) : 自治体の温室効果ガス排出スコープ

Table 2 Scopes definitions for city inventories

Scope	Definition
Scope 1	GHG emissions from sources located within the city boundary
Scope 2	GHG emissions occurring as a consequence of the use of grid-supplied electricity, heat, steam and/or cooling within the city boundary
Scope 3	All other GHG emissions that occur outside the city boundary as a result of activities taking place within the city boundary

現時点では、自治体のためのSBT方法論ではスコープ1とスコープ2のみを対象としています。

Figure 1 Sources and boundaries of city GHG emissions

The diagram illustrates the sources and boundaries of city GHG emissions, categorized into Scope 1, Scope 2, and Scope 3. Scope 1 includes emissions from stationary fuel combustion, industrial processes & product use, and agriculture, forestry & other land use. Scope 2 includes emissions from grid-supplied energy. Scope 3 includes emissions from out-of-boundary waste & wastewater, out-of-boundary heat & steam, other indirect emissions, and international transportation. The diagram also shows the city boundary and the out-of-boundary boundary.

Legend:

- Stationary boundary (solid line)
- City boundary (dashed line)
- Out-of-boundary boundary (dotted line)

Legend:

- Stationary boundary (solid line)
- City boundary (dashed line)
- Out-of-boundary boundary (dotted line)

Science-Based Target (SBT) for Cities



- ▼ 2020年11月にリース・トゥ・ゼロ開連合議において「The Science-Based Climate Targets: A Guide for Cities」が発表されました。（日本語訳はこちら「[都市・自治体のための気候SBT設定ガイド](#)」）
- ▼ SBTiは、測定可能で、実行可能で、期限のある、1.5℃目標に整合する環境目標です。
- ▼ 自治体全体のスコープ1とスコープ2排出量を対象とし、1.5℃目標達成のための道筋と整合している必要があります。
- ▼ 長期的ネットゼロ目標（2050年まで）にと、2030年までに世界の排出量を半減させるための公正な分担に整合した中期の目標を含む必要があります。

CDP-ICLEI Track報告における日本自治体のためのヒント	
(共通)「コメント」欄の記載はスコアリングの対象になりませんのでご注意ください。	
気候リスクと脆弱性の評価	「気候リスクと脆弱性の評価」について、自治体の政策や計画に上位の政府機関が実施した評価結果を反映している場合は、気候リスクと脆弱性の評価を免除されます。質問2.1.1でその内容を記載してください。この場合、「自治体の境界と比べた評価の境界」のセクションで適切な解釈を教えてください。 - 評価において脆弱な人口の考慮がされているかを要視されます。
適応目標	「適応」という名称がいない防災関連目標でも、気候変動への適応に資する場合は適応目標とみなして報告してください。定量的な評価や報告が可能です。 「目標を達成するために使用する評価基準や指標がある気候の実証」については、目標の進捗/達成度を確認するためのプロセスを具体的に記載し、気候の実証を証明してください。「実施の証拠」とは、進捗を確認していることを示すエビデンスの数値/説明が求められています。 - 目標の達成度について、中期目標(2030年までに達成すべき目標)と長期的目標(2031年以降)の両方を含むように(有る場合)してください。
計画策定	- 対象の計画にかかる、モニタリング、評価、更新、のプロセスそれぞれの実施頻度について報告してください。(3項目未満の場合は三つ回答を要します) - 協業する地域社会において、「脆弱な人(グループ)」との協働の有無が重要です。

CDP-ICLEI Track報告における日本自治体のためのヒント	
	(共通)「コメント」欄の記載はスコアリングの対象になりませんのでご注意ください。
計画策定	・ 対象の計画は、かなたの「ヒートマップ」で評価、更新時の「プロセス」などの実施計画について回答してください。この項目はスコアリング対象とされている場合は三回回答を。★本々15年毎に1回の更新は、15年以内の割合で更新してください。 ・ 協賛する地域社会において、「脆弱な人々グループ」との協力の有無が重要です。
進捗把握	・ 多くの進捗報告を回答するよりも、「最も重要な進捗成果の成果」に関してできるだけ詳細を回答することを重視してください。 ・ 気候21年報告されている「自治体が進着する大きな気候/バード」への対応が全て含まれていることが前提となっています。 ・ レジリエンスの持続に関する、進捗の成果の持続する期間については進捗実施計画には異なりません。
緩和貢献	・ 緩和に資する、報告される緩和策により削減された排出量の位置(含む削減)がスキャンの報告に対して必ず、インパクトの大きい緩和策を中心に排出量を追加し、できるだけ多くの緩和策を報告してください。報告する緩和策により貢献する排出削減(年間の数値)を記載することを重視してください。対象セクターが包括的な緩和策でも、特定の重要なセクターの削減にした緩和の報告でもかまいません。 ・ 「緩和策の開始年/緩和が継続すると予想される年」の回答については、報告する緩和策により、削減効果が検出される記載でください。例えば、大規模なビル/ホテルの設置に関する緩和策である場合、終了年はシステムが発表を停止すると予想される年を記載してください。

自治体の回答データを分析する: Open Data Portal (英語サイト)

CDPシティの公開回答データベース。WEB上のフリーソース(無料)

<https://data.cdp.net/>

シティデータウェビナーリンク(日本語字幕)

CDP-ICLEI Track 2025年情報開示サイクル

6月にオンライン調査システムCDPEN

質問書・スコアリング
基奉公開(英語)

回答依頼レターを送付

レスポンスチェック

9月17日
CDP回答
提出期限

情報開示支援資料 (ウェブサイト)

- ▼ CDPシティ質問書
- ▼ 回答ガイドダンス
- ▼ スコアリング基準
- ▼ スコアリング・イントロ

※他のインイニアップへの報告機能の切りとは異なりです

そのほか、日本自治体向けの補足資料、作業資料等は日本事務局にお問い合わせください。



CDP Worldwide-Japan

Address: 東京都千代田区丸の内2-5-1
丸の内二丁目7階

www.cdp.net/ja (日本語サイト)

お問い合わせ: cities.japan@cdp.net